

## 教育厚生委員会 県内調査活動状況

1 調査日 平成30年11月2日(金)

2 委員出席者(9名)

委員長 桜本 広樹

副委員長 清水喜美男

委員 中村 正則 望月 勝 塩澤 浩 杉山 肇

猪股 尚彦 早川 浩 小越 智子

委員欠席者 なし

地元議員

(甲府市)

宮本 秀憲 佐藤 茂樹 土橋 亨 飯島 修

(南アルプス市)

上田 仁 久保田松幸

3 調査先及び調査内容

### (1) 【県立美術館】

#### ○調査内容

※ 現地にて、開館40周年記念事業及びミレー絵画を中心とした美術館の取り組みについて、説明を受けながら質疑を行った。



### (2) 【白根巨摩中学校】

#### ○調査内容(主な意見)

問) 日常の挨拶といった初歩的なところから道徳も始まってくると思う。きょう校舎に入ってきたときも、生徒から気持ちのいい挨拶を受けた。教育の中で日常生活でのこういった道徳性をどのように身につけさせているのか。

答) 本校のみならず県内全ての小中学校で、挨拶をするということが当たり前になってきている。グローバル化など変化の激しい社会を生き抜いて行くためには、コミュニケーションの基本としての挨拶が重要だと考えている。本校では、人間性豊かな生徒を育成するため、授業や生徒会活動、部活動など全ての教育活動を通じて挨拶にこだわりを持って取り組んでいる。

問) 県内でもいじめが多くなっている。そういった中で、この学校ではどのような対応をしているのか。経験のある年配の先生方はある程度大丈夫だと思うが、この学校は若い先生が多いということで、そこに注意を向けてもらいたいと思うがどうか。

答) 「確かな学力」も大事なことだが、安全で安心して学校生活を送れることが最も大切なことだと考えている。大人も子供も、日常生活の中でトラブルが全く発生しないということは難しい。まずは、道徳教育等で「豊かな心」を育成すること、いじめを絶対に許さないという風土を育てることなど、未然防止に取り組んでいる。トラブルが起きた場合は、見逃さず解決まで粘り強く取り組んでいる。

本校は、若い教職員が多いが、やる気があり、大変優秀である。いじめを含めさまざまな課題を解決するためには、孤立し一人で悩みを抱える教職員を生まないように、気軽に話ができる風通しのよい職場環境と組織的に取り組む体制をつくることが大切だと考え、教職員全体で共通理解を図り、取り組んでいる。

問) 道徳教育を推進してきた成果をどのように捉えているのか。

答) 来年度から道徳の教科化が本格実施ということで、本校でもその準備を進めている。教育委員会が実施する研修会や先進校の公開研究会に積極的に参加し、その成果を職場に持ち帰り、共有している。また、本年度は、道徳の授業を校内研究の中心に据え、研究授業を行うなど、教職員の実践力を高めてきた。その中で、課題となっている「登場人物の心情理解のみに終始する授業」や「わかりきった道徳的価値観を言わせたり書かせたりすることに終始するお説教じみた授業」の改善が図られ、期待されている「考え、議論する道徳」の授業に近づいてきたと考えている。

問) 普通の子供が突然、先生方や仲間同士で暴力を振るうといったことが最近ニュースになったが、そういったことについては、この中学校ではどのような状況か。

答) 丁寧に見ていけば、突然ということはなく、必ず予兆があると考えている。大人だけに限らず、子供もいろいろな課題や悩みを抱えて精一杯生きている。そういう子供には、学校のみならず、教育委員会やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、福祉部局など関係機関と連携し、組織的に、丁寧に対応するようにしている。

問) 資料の「道徳科における学習」というところで、22項目を理解させるということが目安となっているが、これだけのことを理解させるということは相当なことだと思う。どのレベルまで理解させるのか、どういう方向に理解させるのかということは、先生の力量とか考え方が反映されると思うが、これだけのことを理解させるということに対して現場の考えはどうか。

答) この22項目は、小学校からずっと学習しており、中学校でも学習しているので、理解等は進んでいると感じている。道徳の教科化は来年度からになるが、道徳の授業はずっと続いているので、教職員の力量等にも大きな問題を感じていない。他者とともにより良く

生きる力、道徳性を養うことを基本に据え、さらなる授業改善に向けて努力をしている。また、道徳教育は、授業だけでなく、学校の教育活動全てを通じて行うものであるとの視点も、全教職員で確認し、取り組んでいる。

問) 本日配っていただいた道徳ワークシートというのどのように使うのか。名前を書くようになっているが、これは回収して評価につながるのか。

答) このワークシートは、授業の中で生徒が考えていく過程として使っていく。これは基本的に回収し、励ます方の評価として使っていく。

問) 最後に教育長から話をいただいて終わりにしたい。

答) 道徳の授業については、大きく変化しているところである。「考え、議論する道徳」ということで、ある意味手探りで授業を進めている状況だと思う。大事なのは、各学校での授業の課題とか成功事例といったものを情報共有していくことだと考えている。県教育委員会としても、そういった場の設定とかに傾注をしていきたいと思っている。



※説明及び質疑の後、道徳の公開授業（1～3年）を視察した。